

大和神社境内にある星塚古墳の案内板を設置しました。

下記は案内説明文です。

ほしづかこふん  
**星塚古墳** ŌYAMATO Tumulus Group  
HOSHIZUKA Tumulus

おおやまとじんじや  
大和神社の周辺には多数の古墳が分布してお  
り、おおやまとこふんぐん大和古墳群と呼ばれています。そのなかの  
一つである大和神社境内のほしづかこふん星塚古墳は全長 70  
mのぜんぽうこうほうふん前方後方墳とされていますが、より細かく  
墳形をみると、二つの方形の墳丘がふんきゆうつながった  
ような独特な形状をしています。また、二つの  
墳丘の下位には方形の台状部があるようにも見  
えます。北側の墳丘は一辺約 25 m、高さ 5 m  
あります。

これまでに発掘調査はおこなわれていません  
が、はにわへん埴輪片などが採集されています。

大正時代に刊行された『ならけんやまべぐんし奈良縣山邊郡誌』に  
は「ひめたたらいすずひめのみこと神武天皇ノ皇后姫踏鞴五十鈴媛命ノ御陵」  
とする伝承が採録されています。

令和 2 (2020) 年 7 月 天理市教育委員会



星塚古墳測量図

出典：奈良県立橿原考古学研究所 2001『大和前方後円墳集成』



星塚古墳は大和神社境内地にある大切な古墳です  
みだりに立ち入ることはおやめください

星塚古墳は大和神社参道脇(手水舎の参道を挟んで北側)に位置しています。

